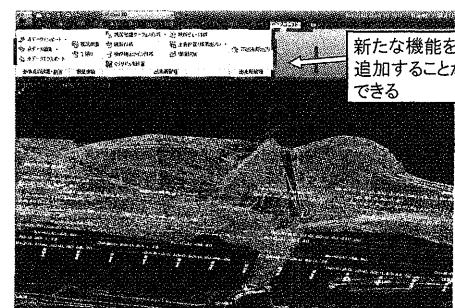


3Dで現場管理簡易化

西松建設

大規模盛土に初適用

西松建設は、土工事の3D施工支援システム「Ni-SS 3De」をアイサンテックノロジーと共同開発し、大規模盛土工事に初適用した。施工計画から設計、施工、施工管理までを3次元データで支援するシステムで、現場の管理を従来に比べて短時間化・簡易化できる。実現場でシ



「Ni-SS 3De」の画面

ステムを導入した結果、出来高測量などを大幅に効率化できることを確認した。

新システムは、オートデスクの3D-CAD「Civil 3D」の機能を拡張し、設計データや測量データなどを3次元化することで、土量計算や帳票出力などの出来高管理、出来形管理といったデータ処理作業を効率的に行う。

西松土工統合管理システム（NiEMS）の1つとして位置付けている。このシステムと情報化施工を組み合わせること、現場作業の大幅な時間短縮・作業の効率化が期待できる。

盛土の出来高管理は、屋外作業と室内作業で多くの作業時間が必要とされる。新システムの導入によって、屋外作業では測量の人員と手間が省力化でき、ワンマン測量を実現。一方、室内作業では作業時間を大幅に短縮できた。出来高測量では40%、室内作業では約50%の作業時間を短縮したという。

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| ⑬ 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海 |
| 16. 建設工業 | | |

平成26年3月24日（朝）・夕 P 3